

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回上尾市総合教育会議	
開 催 日 時	令和7年1月28日（火） 午前10時30分～11時30分	
開 催 場 所	市役所本庁舎3階 庁議室	
議長(委員長・会長)氏名	畠山 稔（市長）	
出席者(委員)氏名	教育長 西倉 剛 教育委員 内田 みどり 教育委員 岩口 由美 教育委員 谷島 大 教育委員 矢野 誠二 教育総務部長 加藤 浩章 学校教育部長 瀧澤 誠 教育総務部次長 池田 直隆 学校教育部次長 黒田 正司 教育総務課長 杉木 直也 学務課長 田中 栄次郎 指導課長 武田 直美	
欠席者(委員)氏名	教育委員 小池 智司	
事務局(庶務担当)	市長政策室長 柳下 貴之、市長政策室次長兼課長 榮 幸輝 秘書政策課副主幹 小田川 史明、同主査 黒須 卓見、 同主任 渡辺 拓郎	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 上尾市教育振興基本計画について	報告・説明と質疑応答
	(2) 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実等について	報告・説明と質疑応答
	(3) 教員の働き方改革について	報告・説明と質疑応答
	(4) 休日の部活動地域移行について	報告・説明と質疑応答
	(5) その他	報告・説明と質疑応答
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 5名
会 議 資 料	別添のとおり	

議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和7年2月14日

議長(委員長・会長)の署名 畠山 稔 (※原本は自署)

議長に代わる者の署名 _____
(議長が欠けたときのみ)

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会（市長政策室長）	<p>皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>只今から、令和6年度第2回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、市長政策室長の柳下と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日は、定例の教育委員会が開催されたとのことですが、教育委員の皆様におかれましては、日々上尾の教育の発展にご尽力いただき感謝申し上げます。</p> <p>今年度2回目となる総合教育会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、今年度の広報あげお1月号の市長新春座談会のコーナーでは、市が推進している英語力向上プラン関連事業に参加した3名の生徒と対談させていただきました。</p> <p>生徒たちの市の事業に参加した感想や今後の展望、率直な思いを聞くことができ、また、読者の皆様からは市の取り組みに対して多くの好評をいただきました。</p> <p>改めて教育は未来を担う子どもたちの成長に欠かせない基盤であると感じました。</p> <p>総合教育会議を通じて、子どもたちが安心して学び成長できる場を提供できるよう皆様としっかりと意見交換を行い協議・調整を進めていきたいと思っております。</p> <p>忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私からの挨拶といたします。よろしく願いいたします。</p>
司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございました。また、10月1日付で「岩鉄 由美」様が新たに上尾市教育委員会委員にご就任されました。そこで大変恐縮でございますが、岩鉄様に自己紹介をお願いしたいと思っております。</p>

岩鉄委員	<p>皆様おはようございます。10月1日より教育委員を務めさせていただいております「岩鉄 由美」と申します。精一杯頑張りますので、どうかよろしく願いいたします。</p>
司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございました。それでは、早速ですが、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>初めに、本会議の公開についてでございますが、本会議は原則公開となっております。</p> <p>特定の個人を識別することができるものや、公にすることにより、個人の権利利益を害するおそれがあるものなどの発言には充分にご注意いただきますようお願いいたします。</p> <p>本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>傍聴者が5名いらっしゃいます。</p>
司会（市長政策室長）	<p>只今から傍聴者に入場していただきます。事務局は傍聴者を入場させてください。</p> <p>～傍聴者入場～</p>
司会（市長政策室長）	<p>傍聴者の皆様に傍聴上の注意を申し上げます。先ほどお配りしました「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守するようお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には、退場していただく場合がありますのでご了承願います。</p>
司会（市長政策室長）	<p>さて、今年度は新たにスクールロイヤーの設置やイングリッシュサロンの設立、学校適応指導教室の分室を整備するなどの変化の多い年度であったのではないかと思います。</p> <p>また、来年度も「上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針」や「上尾市教育振興基本計画」の見直し時期を迎えるなど、大きな転換期を迎えます。今後も引き続き、しっかりと教育施策の方向性を共有していきたいと思っております。</p> <p>それでは、まず、議題1「上尾市教育振興基本計画について」、でございます。</p> <p>令和3年度を初年度とし令和7年度までの5か年の計画として進めてまいりました「第3期上尾市教育振興基本計画」ですが、7年度は最終年度となりました。今後新たな計画策定に向けて動きだしてくることかと思っております。次期計画策定に向けて、教育総務部からご説明をお願いします。</p>
教委事務局（教育総務部）	<p>教育総務部からご説明申し上げます。まず、資料1をお願いいたします。1ページ下段をご覧ください。教育振興基本計画は、教育基本法の規定に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画と</p>

	<p>位置づけられ、現在上尾市では、令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とする第3期計画を定め、計画の推進を図っているところでございます。</p> <p>国では、令和5年度に、県では、令和6年度に、第4期計画を策定しております。参考資料として、2ページ、3ページに、その概要を添付しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。</p> <p>上尾市の第4期教育振興基本計画につきましてはこれからの策定となりますが、これらの国や県の計画を参酌し、総合教育会議に策定経過を示しながら、職員からなる策定委員会や作業部会を進めてまいりたいと考えております。資料4ページと5ページ上段に、上尾市の現行の第3期計画の基本理念、基本方針、目標を添付しております。</p> <p>資料5ページ下段をご覧ください。教育の振興に関する大綱についてでございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長が「教育の振興に関する大綱」を定めることとされており、大綱を定める場合には、あらかじめ、総合教育会議において協議すると規定されています。</p> <p>なお、文部科学省の通知において、市長が定める大綱については、教育振興基本計画をもって代えることができることから、本市においては、令和2年度の総合教育会議において、第3期上尾市教育振興基本計画をもって大綱としたものでございます。説明は以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 教育長</p>	<p>教育長、お願いいたします。</p> <p>今、説明がありました通り、来年度までは、現在の第3期基本計画に基づいて、教育行政を進めていきます。令和8年度からは第4期となります。この策定にあたりましては、令和5年4月に施行された「こども基本法」の中でも示されておりますけども、子どもや子どもを養育する者やその他の関係者の意見を聴取し反映させるために必要な措置を講じることや、子ども未来部の関連部署とも連携対応することが重要であると考えております。</p> <p>先ほど、教育総務部長から説明がありました通りですが、文部科学省では、市長が策定する「教育の振興に関する大綱」につきましては、教育振興基本計画をもって大綱に代えることができるとされております。</p> <p>本日の総合教育会議の中で、市長と教育委員さんとの間で協議しながら、その方向性を決定できればと考えております。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。教育総務部から説明を受けました。教育委員の皆様からはなにかご意見ございますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>－意見なし－</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>「上尾市教育振興基本計画について」一通り説明をいただき、教育長・委員の皆様からは特段ご意見はありませんでしたが、それを受けまして、市長から何かございますでしょうか。</p>

<p>市長</p>	<p>私といたしましては、これまでと同様に教育委員会で策定されました「教育振興基本計画」を大綱に代えて、教育委員会と市部局が同じ計画のもとで、上尾の教育を進めていただきたいと考えております。については、大綱、つまりこれから策定される教育振興基本計画を定期的に、進捗を確認しながら教育委員会の皆様と協議してまいりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>－異議なし－</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今後も教育振興基本計画の策定は、総合教育会議に進捗を報告していただきながら進めていくようお願いをいたします。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。教育振興基本計画を大綱に代えていく判断をいただきました。今後も総合教育会議の場など活用しながら、教育委員会と市部局で協議・調整を進めていけるようお願いいたします。</p> <p>それでは議題2「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実等について」に移ってまいります。</p> <p>令和5年度第2回上尾市総合教育会議でも取り上げさせていただきましたが、令和6年10月31日付で文部科学省から「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実等について」という通知が発出されたところでございます。</p> <p>この通知では、各教育委員会にあつては、地方公共団体の長及び関係部局に対し、この調査結果及び各自治体の状況について共有を図るようにと示されております。公表された調査結果について、学校教育部長から説明をお願いいたします。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>文部科学省が行った令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果につきましては、暴力行為、いじめの認知件数、30日以上長期欠席者において全国的に増加傾向で、本県・本市におきましても、同様の傾向でございます。</p> <p>資料2をご覧ください。本市における暴力行為の発生件数は、令和4年度の280件から令和5年度は、321件と前年度比115%の増加であり、直近3年間で最も多い件数でございます。暴力行為は、いじめと関連していることが多いため、令和3年度より積極的に認知するよう各上尾市立小・中学校長に依頼をしております。</p> <p>続きまして、いじめの認知件数につきましては、令和4年度の839件から令和5年度は1,000件と前年度比119%の増加でございます。様々な学校行事などの活動がコロナ禍が明け再開されたことにより、子どもたちがお互いに関わる機会が増加したことに加え、いじめ防止対策推進法の理解が進んだことにより、いじめと疑われる事案に対し、学校として積極的な認知が行われたことが増加の一因にな</p>

	<p>ったと考えております。</p> <p>続きまして、30日以上長期欠席につきましては、主たる理由の一つとして不登校がございます。不登校に関しましては、小学校における不登校児童数は、令和4年度の126人から令和5年度の123人と前年度から比べ若干の減少となっております。中学校における不登校生徒数は、令和4年度の308人から令和5年度の332人と前年度比から比べ増加となっております。令和5年4月より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、学校生活が通常に戻りつつある中で、生活環境の変化による生活リズムが乱れやすい状況や、児童生徒一人一人の抱える悩みや課題は多様になってきております。そういった中で、登校の意欲が湧きにくいことも背景にあったかと考えております。今後も、引き続き、いじめ見逃しゼロを目指し、いじめの積極的な認知を行い、未然防止、早期解決に努めてまいります。不登校につきましても未然防止に重点を置いた対応を進め、相談体制の充実に努めてまいります。以上でございます。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。いわゆる門行調査ですね。こちらについて説明をいただきました。上尾市における現時点での、いじめの認知件数及び不登校数について教えてください。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>令和7年1月1日現在におきまして、いじめの認知件数につきましては、小学校は、426件、中学校は123件でございます。現在、見守りも含め、解消へ向け取組中です。そのうちいじめ重大事態として10件対応しております。先般、調査報告書の好評を行いました事案もごさいますが、引き続き学校と教育委員会で連携して対応に努めてまいります。</p> <p>また、不登校児童生徒数につきましては、小学校190名、中学校329名でございます。こちらにつきましても、教育センターを中心に学校と連携しながら、対応にあたってまいります。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>いじめの防止及び不登校対策として、上尾市としての具体的な取り組みを教えてください。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>教育委員会がいじめ防止するために令和6年度に実施した主な取組をご紹介します。</p> <p>資料3をご覧ください。こちらは、12月に実施いたしました「上尾市いじめ防止子供サミット」です。この取り組みは、いじめ防止について、児童生徒自身が主体的かつ実践的な活動を行うことをねらいとした取組でございます。</p> <p>今年度は、市内の各小・中学校から、代表児童生徒2名ずつが参加し、令和5年度に各中学校区で決めた「上尾市いじめ防止子供サミット宣言」を具現化するための方策を協議したり、いじめを防止するために各校児童生徒が作成した、いじめ防止のための標語の選定子どもたちにいただきました。</p> <p>特に、協議では、児童生徒が積極的かつ具体的に話し合う様子が見</p>

られ、いじめ防止をするためのポスターを作成する、友達のよいところを書いた掲示物を作成する、といったことなど、各中学校区において工夫に富んだ取組を考えて発表していました。今後は、この取組を実行に移していけるよう、各学校を支援してまいります。

続きまして、不登校対策として令和6年度に実施した主な取組を3点ご紹介いたします。

資料4をご覧ください。1点目といたしまして、今年度5月に上尾市立大谷小学校内の空き教室を利用して、学校適応指導教室の分室として、おおよサテライトを開設いたしました。

これまで、学校適応指導教室は、上尾市中心部の上尾市教育センター内に1カ所のみでしたが、遠方等の理由により、通うことが、利用することが難しいという課題があったため、上尾駅西口エリアにも児童生徒の新たな居場所として、2名の指導員を配置し開設いたしました。

2点目といたしましては、各学校内の空き教室等を活用した居場所として、校内教育支援ルーム（SSR）を全校に設置いたしました。

学校には行けるけれど自分の学級には入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、教室以外の居場所づくりを目的としております。SSRを利用して自分に合ったペースで落ち着いて学習や生活をする中で、学習の遅れや学校生活に対する不安が解消され、教室復帰など学校生活に対する意欲の回復につながっている成果も出ております。

3点目でございますが、不登校の子をもつ保護者同士が語り合い、気持ちや情報を共有することで、その保護者が悩みを抱えて孤立せず、適切な情報や支援を得られるようにすることを目的として、「不登校について語り合う会」を開催いたしました。参加者の感想では、同じ悩みを抱えている方と出会えてよかった、このような会を求めている、といった内容が多くあり大変好評でした。今年度は11月に第1回目を開催し、2月に第2回目の開催を予定しております、今後も継続して開催してまいります。以上でございます。

司会（市長政策室長）

ありがとうございました。議題2「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実等について」の説明を受けて、市長の方からご意見等ございますでしょうか。

市長

説明いただいた「いじめ防止子供サミット」は、私も富士見小学校に足を運び拝見させていただきました。

小中学生がグループに分かれ、具体的ないじめ対策について活発な議論を行っており、どれも共感できる意見ばかりでした。

「いじめ防止対策推進法」施行から10年以上経過しました。児童・生徒のいじめに対する理解は高まってきているのではないかと思います。

より実効性を高めるためにも、今回のような児童・生徒のみならず、教員や保護者でも同じようなことをやってみるのも、新たな効果が期

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>待できるのではないかと感じました。</p> <p>また、先日、市内の小学校における「いじめ重大事態調査報告書」が公表されましたが、様々な取り組みを通じていじめは人権を侵害する行為であり、決して許されないということを更に理解を深めていただき、今後も被害生徒やその保護者の心情に寄り添い真摯に対応をお願いしたいと思います。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>ありがとうございます。学校教育部から、現状と取り組みの説明と、そして市長からは、教員や保護者でも今回のサミットをやってみてはといった意見がございました。教育委員の皆様はご意見ございますか。</p> <p>今、市長からありました、いじめ防止サミットについてなんですけれども、私も前年に続いて拝見させていただきました。前年のサミットで採択されたものをベースにしていることもあったと思うんですけれども、今回はさらに子どもたちの議論が1つレベルアップしたような印象を持ちました。</p> <p>また、そこに参加している校長先生の話聞いたんですけども、このサミットで行われた議論について、参加した子どもが、3学期の始業式には全校生徒に報告をするのだという話をされているのを聞いて、とても良い取組だなと感じました。</p> <p>市長と同様に、私も児童生徒のいじめに対する理解は結構深まってきたという印象をその会場で受けたんですけども、今後、そういった保護者・教員の方も含めた大人にもこういう取組をしてもらうということに私も賛成いたします。</p> <p>また、その前にお話にあった不登校に関連してなんですけれども、今月教育センターで行われた適応指導教室の作品展を拝見させていただきました。その教室を利用している生徒さんの案内で適応指導教室の様々な普段の活動の様子だったり、あるいはその作品の説明を受けながら見ることができました。本当にしっかりとした生徒さんの対応に接する中で、ああいった適応指導教室だったり、SSRなどのその居場所の確保というものと、それからそこで指導する人員の確保というものが今後やはりあらためて重要になってくるんじゃないかなと感じました。私からは以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 内田委員</p>	<p>ありがとうございます。内田委員お願いします。</p> <p>私もいじめ防止サミットの方に出席させていただきました。2回目ということで、本当にとても良い会になっていたと思います。やはり小学生と中学生が混じって議論をしていくというのがとても良い場だと思っておりまして、中学生が司会進行をして、それについて小学生が物怖じをせず発言をしているところですか、そういったところはとても良かったと思っております。</p> <p>これをですね、持ち帰って各学校でいろんな取組をしていただけたらと思っておりますが、やはりこれを保護者がどれだけ理解するのか、今回いろんな問題があって、保護者が中の方で見学できなかったのが</p>

	<p>少し残念だったなとは思いますが、こういう場を他の保護者にも見ていただきたいというのが思いでございます。各学校で同じように話し合いができたところ、意見として申し上げさせていきたいと思っております。あと、適応指導教室の方の作品展も私も行かせていただきました。とても良い作品が数々並んでおりまして、説明もすごく上手なんです、</p> <p>この適応指導教室になぜ通っているんだろうと感じるような子が参加され、説明していただいたんですけども、ここに通っているからこれだけの色々な発言ができるのか、自信をもってできるのか、どういご指導をなさっていたのかということも、指導方法ですとかも少し拝見してみたいなと思っていたところなんですけれども、これとまた、今度新しく SSR という校内の教育支援ルームということで、昨年から各学校に設けられたと思っております。これが、不登校の受け皿というよりは、未然防止の場になって不登校を1人でも作らないような場になっていければなと思っております。これからの期待の場だと思っておりますので、とても期待しております。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 矢野委員</p>	<p>ありがとうございます。矢野委員お願いします。</p> <p>今お二人の委員さんと同様なのですが、市長の方から教員や保護者を対象にしたそういったサミットの実施というご意見がありましたけれども、大変興味深い提案だと思えました。実際、その2回実施されている子どもサミットは、あくまでいじめを受けたり、いじめをしたりという当事者の中での自覚っていうんですかね、意識を高めるのに大変いい事業だと思っております。ただ、それをやはり子どもとはまた違った教員や保護者で、その子どもたちが意見を交わす内容というのも理解していただくのも大事なところだろうなと。大人も色々な見方をしますし、子どもたちがここまでやっているというのを大人が自覚することが、やはりいじめを減少させる意味で大きく役立つ取り組みだろうというふうに思います。意見です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 岩鉄委員</p>	<p>ありがとうございます。岩鉄委員お願いします。</p> <p>私もいじめ防止サミットに昨年度行かせていただいたんですけども、たまたまなんです、この前全国の方とオンラインで交流したときに、いじめの話も議題として出たんですけども、まず、いじめとして、子どもが何をもちいていじめと取るのか。それを子どもが例えば親に伝えた時にそれはいじめじゃないかとなるのか。子どもは別に、いや、ちょっといじりあっただけだよと。いじめに対する認識が違ったりする部分も、やはり子どもの世界は子どもの世界としてあるらしく、私自身も子育てをしていて感じる部分もあるんですけども、その線引きと言いますか、もちろん性的な部分でのいじめが出てきたり、ただのいじりだったり、からかいだったり、それがいじめに繋がったりするのも本当に未然防止という観点からみると、大人が気づくなり、周りの子が自分には関係ないよじゃなくて、それぞれの子どもたちが当</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>事者、被害者でも加害者でもないから関係ないのではなくて、うまく言えないんですけれども、ちゃんと自分は部外者ではないという、いつでも当事者となりうるのだという気持ちを持って生活するにも、このいじめ防止サミットというのは、今回子どもの代表者だけだったんですけれども、学校内で取り組んでみるとか、先ほど先生や保護者の方にもやってみたらいいのではと市長もおっしゃっていましたが、どういう形で、何かこう開催しましょうとやると、PTAの方しか来ないとか、一般の保護者の方は後で資料だけ見ればいいとなってしまうので、授業参観であったり、何か本当に自分がいつ当事者になるかわからないという意識で取り組んでいけたらいいのかなと心から思いました。</p> <p>ありがとうございます。今ご意見の中で大人の方の参加、子どもと大人の認識の違いですとか、保護者の見学のチャンスと言いますか、参加の工夫、この辺りが今後の課題なのかなと感じました。現在行っている取組は引き続き推進していただきまして、また違った角度からの取組も研究しながら、いじめ撲滅や予防対策に向け取り組んでほしいと思います。</p> <p>それでは、議題3「教員の働き方改革について」に移りたいと思います。</p> <p>上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針が令和4年の9月に改定されまして、「時間外在校等時間月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を令和6年度末までに100%にする」という目標を掲げており、まもなく、令和6年度末を迎えようとしております。現状について、学校教育部長の方から説明をお願いいたします。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>令和6年11月の時間外在校等時間の状況についてご説明いたします。資料5をご覧ください。45時間を超える割合は、小学校が24.7%、中学校が43.6%でございます。80時間を超える割合は、小学校が0%、中学校が6.8%でございます。</p> <p>今年度実施した「上尾市立小・中学校働き方改革推進委員会及び上尾市立小・中学校働き方改革懇談会」におきましても働き方改革を推進するための課題の一つとして、代替教職員の未配置・未補充の解消が取り上げられました。</p> <p>教育委員会では、昨年度に引き続き、令和6年12月21日に、臨時的任用教職員説明会を実施し、21名の出席がございました。今後の任用につなげ、代替教職員の未配置・未補充による負担が生じないように努めてまいります。</p>
<p>司会（市長政策室長） 教委事務局（学校教育部）</p>	<p>目標達成の見込みや他市の状況はいかがでしょうか。</p> <p>近隣市町に確認したところ、いずれも45時間を超える割合は、小・中学校共に減少傾向にあります。目標達成は難しい状況でございます。</p>

司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございます。目標達成は難しいとのことでしたが、現状を踏まえ、市長ご意見いかがでしょうか。</p>
市長	<p>資料を見る限り、昨年度の総合教育会議で報告いただいた結果より改善方向に向かっていることはわかりました。</p> <p>しかし、長時間勤務は決して見逃すことのできない問題です。残り2ヶ月ありますので、絶対に達成するという強い意気込みで、引き続き取り組んでもらいたいと思います。</p> <p>また、教員の人手不足・なり手不足の解消にもつながってくるかと思っておりますので、目標達成に向け、しっかりと課題を整理してほしいと思います。</p>
司会（市長政策室長）	<p>「上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針」は策定し直す予定はありますか。また今後はどのような対策を取っていきますか。</p>
教委事務局（学校教育部）	<p>現在の「上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針」は令和7年8月31日までのものとなっております。今後、県から出される方針を基に新たな方針を策定する予定でございます。</p> <p>また、教育委員会では、教育課程の編成・実施に際して、各学校における教育課程の編成が適切に行われるよう、指導・助言を行っております。</p> <p>こうした中、令和5年4月に文部科学省から示された「令和4年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査」の結果についての中で、「教育課程の編成に当たっては、学習指導要領で示されている標準授業時数を大幅に上回って編成する必要がないこと」が示されたことを踏まえ、夏季休業を含めた授業日数及び授業時数を見直し、児童生徒及び教職員双方の負担を軽減することをとおして、学校教育の質の向上を図ってまいりたいと考えております。</p>
司会（市長政策室長）	<p>教育委員の皆様は、議題3「教員の働き方改革について」の説明を受けてどのようにお考えでしょうか。谷島委員お願いします。</p>
谷島委員	<p>先ほど行われた定例会議でも申し上げたんですけれども、なかなか目標達成には結構厳しいかなという状況が見えていて、中学校の部活動というのが、やはり中学校においては、この数字に影響を与えてくる部分が大いのかと思ってます。今、地域移行なども始まっていますが、小学校などもやはり一定の数字達成ができていないという部分は、やはり色々な理由があつてのことだと思うので、今回目標となっている時期というのは迫ってきていますが、やはりもう1回なぜ減らないのかという理由に対して、その対策をもう一度考え直すことが大事かなというふうに思っていますので、それを意見として申し上げます。</p>
司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございます。他の方はどうでしょうか。内田委員お願いします。</p>

<p>内田委員</p>	<p>やはり問題となってくるのは中学校の方だと思います。保護者の感覚から言うと、やはり放課後に先生がいろんな相談に乗ってくれる先生は良い先生というのがどうしても感覚であるため、先生が放課後いない、電話に出てくれない、というどうしても保護者からすると、残業してほしいなというところが出てきてしまうことがあったりすると思うんです。</p> <p>だから、きっと電話なんかでもしてしまうんだらうと思うんですけども、そここのところの保護者の認識も変えていかなくちゃいけないというのが1番かなというところがあります。</p> <p>この時間は先生はもうお仕事おしまいなんだよというところを保護者の中にも浸透させていくということでしょうかね。そういった取組も必要かなというところを感じます。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p> <p>矢野委員</p>	<p>ありがとうございます。矢野委員お願いします。</p> <p>働き方改革と叫ばれてからだいぶ経ちますが、なかなか私個人としては難しいことなんだらうなと思っています。自分のことで申し訳ないですが、中学校の教員になる時に、やはり自分は教師になりたくてなったというか、採用試験を受けて教員になったわけですが、その時に最初にいただいたお給料を時給に計算したことあるんですね。部活動も持っていましたので、土日も部活動を見ていましたが、当時のハンバーガーチェーンの時給よりも安かったと同僚と愚痴をこぼしていました。</p> <p>各自治体で、上尾市も特にそうですけど、実際、現場の職員の負担を減らすための努力をされています。ただ、採用試験を受けて上尾市に行けるとは限らないんですよ。または、この学校に行きたいという希望は叶わないわけですよ。国全体、県全体でのレベルでこのイメージを払拭するような取り組みが実現しないと難しいんだらうなと思います。</p> <p>ちょっと抽象的な、またちょっと的外れな話になってしまいましたけど、徐々に変わりつつはあるんですけど、時間のかかる問題だろうというふうに思います。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p> <p>岩鉄委員</p>	<p>ありがとうございます。岩鉄委員お願いします。</p> <p>皆さんの意見と共通してしまうのですが、この残業をしている理由をやはりしっかり精査しないとなかなか達成は難しいのかなと思うのが正直なところで、先ほど内田委員もおっしゃっていましたが、それこそ放課後に電話をして先生が話を聞いてくれるというと、やっぱり良い先生、よく相談に乗ってくださる先生というふうに保護者は思いますし、保護者からの電話だけではなくて、放課後に子どもたちがちょっと先生話を聞いて、って言ったときに先生忙しいから、まして時間外だから無理とかは言えないでしょうし、先生も無下にはもちろんしないでしょうし、こちらも話は聞いてほしいし、という部分もある</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ので、先生がもう嫌々残ってのこのパーセンテージなのか、いや、自分仕事したいんですっていうことなのかも含めて、もちろん部活動の改革だったり色々あるかと思うんですけども、ぜひ精査していただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。市長も含めて各委員の皆様から様々なご意見をいただきました。もう一度振り返ってなぜというところからですか、保護者に浸透していかないと、というその必要性ですとか、やはりどうしても原因というかそこが難しいところなのかなど。これはもう目標を掲げてそこを目指すしかないという、先ほど冒頭の市長のお話にもありましたが、引き続き取り組んでいくしかないということで、課題はずっと続くということで進めたいと思います。</p> <p>それでは、続いて議題4「休日の部活動地域移行について」に移らせていただきます。</p> <p>今年度は、英語に関わる地域クラブとしては全国初となる「イングリッシュサロン」がマスコミに取り上げていただくなど本格的に動きだしました。</p> <p>また、5月に策定した「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づき、スポーツ分野の複数の種目において、地域クラブ活動を実施するなど、休日の学校部活動の段階的な地域クラブ活動への移行が始まってきております。</p> <p>学校教育部より「休日の部活動地域移行について」説明をお願いいたします。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>資料6をご覧ください。教育委員会では、休日の学校部活動に代わる新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」への移行に向けた推進事業に取り組んでおります。</p> <p>現在、中学校では、昨今の少子化の進展による生徒数と教職員数の減少など、学校規模が縮小していく中で、学校部活動をこれまでと同様の体制で運営することが困難になってきており、学校や地域によっては、部を存続することができずに、廃部とせざるを得ないケースも増加してきております。</p> <p>また、教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中で、困難なものとなってきております。</p> <p>こうした中、令和2年9月に文部科学省から示された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」の中で、中学校における休日の学校部活動を、令和8年度までに段階的に地域クラブ活動へ移行していくことが示されました。</p> <p>上尾市教育委員会では、これまでの学校部活動が有してきた教育的意義を踏まえつつ、子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を、学校や地域と連携、協働しながら創出し、持続可能なものにしていくため、本年5月に「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」を策定いたしました。</p> <p>現在は、本基本方針に基づく体制・環境整備に向け、「AGEO地域クラブ」実証事業や上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」開設</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>等に取り組み、休日の学校部活動の地域移行を推進しているところでございます。</p> <p>ありがとうございました。「休日の部活動地域移行について」市長からなにかご意見ございますでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>今年度は多くの報道機関に上尾市の先進的な取り組みを取材していただき、新聞などのメディアに取り上げていただきました。</p> <p>一步先を行く、上尾市モデルとして確立し、学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を行ってほしいと思います。</p> <p>子どもたちの選択肢も広げられる良い取り組みは、引き続きしっかりと効果につなげていただきたいと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。先ほどの議題3でもありましたが、時間外について中学校の部活動に大きな理由がありそうだという発言もありましたが、「休日の部活動地域移行について」の説明を受けて委員さんの方からご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>私もこれまでの地域クラブ、「AGEO地域クラブ」だったり、あるいは「イングリッシュサロン」を視察させていただく機会がありまして、それぞれのいろんな種目を見させていただきましたがけれども、それぞれ優れた練習環境だったり、あるいは指導者の方がいてくださって、自分が中学校の時だったら、あるいは自分の子どもが中学生だったら、ぜひ参加したかったななんていうのを感じたんですけども、やはり、でも今後色々まだまだ課題があると思いますし、その費用の問題であつたり、種目をどう増やしていくか、文科系の活動をどれくらいできるのかとか、あとやっぱり自分の学校でできた部活動がアクセスしなくちゃいけない、今活動拠点が1つとか、これから増やしていくにしても、少なくともアクセスは不自由になるというのがありますので、ちょっと懸念しているのは、その完全移行したときに例えば今部活動を行っている生徒数というのが結構減っちゃうんじゃないかなというのを懸念してまして。</p> <p>やはり中学生、高校生もそうですけど、かなり部活動というのはエネルギーのはけ口でもあるので、そういうものに参加しない子どもが増えてしまったら困るなというの個人的に感じていて、それに対してなるべく多くの人に参加しやすいものにしていくことも大事だというふうに感じています。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 内田委員</p>	<p>ありがとうございました。内田委員お願いします。</p> <p>私も見学させていただきまして、剣道、バレーボール、ソフトテニス、それから陸上競技の方を見学させていただいたんですが、剣道のご指導ですとか、所作から始まって色んなことを丁寧にご指導いただいて、とても良かったと思っております。</p> <p>これも教員の先生にちょっとご指導いただくのはやはり剣道ですと</p>

	<p>かは難しいのかなというのは感じたところでございますので、この地域移行ということで、ご指導をいただける方にご指導いただければ、剣道であれば段ですとか、これだったら確実に取れていくんだろうなというのを感じたところでございます。</p> <p>また、陸上競技についても、普通、中学校でこれだけの種目をできるというのは難しいと思いましたが、色んな種目がありましたのでね。これはとても良い施設で良い部活動ができるなと感じたところでございます。</p> <p>ただ、子どもたちにここまで来てくれということで、1カ所で剣道ですとか、それからバレーボールをやるということ、なかなか参加するハードルが高いかなというところは感じたので、拠点をできればいくつか増やしていただきたいなというところが希望としてございました。できることでしたら、土日教職員の先生がお休みできて、土日はこの地域移行ができればというところが望みでございますが、ちょっとこれを浸透させていくには時間がかかるかなというのを感じたところでございます。親御さんがこのお金を出して、土日遠くまで行ってらっしゃいと送り出せるのが当たり前というような状態に持っていくには、ちょっと何年かかるかなというのは感じたところでございます。</p> <p>それまでに、場所を増やすですとか学校の中でできるようになるですとか、そういったところもこれから検討していく必要があるかなというところは感じたところでございます。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。岩鉄委員お願いします。</p>
<p>岩鉄委員</p>	<p>私も同じような意見になってしまいますが、指導者の確保も難しいところだと思いますし、今後種目がどのように増えていくのかですとか、やはり活動拠点があまり遠いところだと、おそらく子ども1人で自転車で行かせることがちょっと抵抗がある親御さんも、もちろんいらっしゃると思いますし、そこにお金もかかってくると、わざわざ土日はいいんじゃない、って子どもに親も言うてしまうかもしれないし、子どもの方も、いや、土日は部活ないならいいやって思ってしまうことも考えられるので、参加をするハードルを下げるですとか、活動拠点を増やすであるとか、たくさん良い取り組みだと思うので、いろんな課題をクリアして浸透していけばいいなと思います。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。他にありますか。よろしいでしょうか。皆様共通して、やはり拠点の場所ですとか数、それとそこへのアクセス、この辺りが参加のハードルを下げていく、という発言がございました。休日の部活動地域移行は、議題3で取り上げました教員の働き方改善についても繋がってくると思いますので、1歩先に行く上尾市モデルを確立しまして、しっかりと推進していただければと思います。</p>
<p>教委事務局（教育</p>	<p>続きまして、議題5「その他」としてなにかございますでしょうか。</p> <p>「民間スイミングスクールを活用した水泳授業」について、ご報告</p>

総務部)	<p>いたします。</p> <p>これまでのご報告の通り、令和5年度は第1学期において、民間スイミングスクールを活用した水泳授業モデル事業を実施し、また、今年度は、通年利用における事業実施を踏まえた検証に向けて取り組んでいるところでございます。</p> <p>これまでに実施したアンケートでは、いずれの対象者からも高い評価を頂いておりますが、当該検証により課題を洗い出しつつ、本格実施への移行を図り、実施校の拡大に繋げてまいりたいと考えております。以上です。</p>
司会（市長政策室長） 事務局（市長政策室次長兼課長）	<p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。</p> <p>事務局からでございます。次回の会議でございますが、来年度の夏頃を予定しており、定例教育委員会に併せて開催したいと考えております。時期が近くなりましたらご連絡申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
司会（市長政策室長）	<p>他によろしいでしょうか。特に無いようでございますので、これで議事はすべて終了とさせていただきます。皆様のご協力ありがとうございます。それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、西倉教育長からご挨拶を賜りたいと存じます。</p>
教育長	<p>本日は今年度第2回の総合教育会議ということで、畠山市長、そして教育委員の皆様と、これから策定する上尾市教育振興基本計画のことや学校における諸課題、さらに教員の働き方改革、部活動の地域移行等、様々な課題についての話し合いができましたこと、まずもって御礼申し上げたいと存じます。</p> <p>さて、このような山積する教育課題について、上尾市だけの問題ではなくてですね、これは日本全体の問題でもあるかと思いますが、それらの解決の方向性を示すものになるのかなと思っているんですけども、昨年12月25日に、文部科学省は中教審（中央教育審議会）に対して、初等中等教育における教育課程の基準等のあり方についての諮問を行いました。深刻さを増す少子高齢化、そして混迷度を増すグローバル情勢など、社会の不確実性が進んでいく中で、令和の日本型教育をいかに継承、発展させていくべきかというふうなことについて見解を求めたものであろうと思います。</p> <p>具体的な中身としては、重要な教育課程の編成や生成AIの活用、さらに標準授業時数のあり方などが掲げられておりまして、今後出される答申は、今日私たちの方で、ここで議論された様々な課題や、あるいはこれからの学校教育の方向性を示すものになるのかなと思っていますので、私たちもしっかり注目していかなくてはならないと思います。</p> <p>これらを踏まえまして、教育委員会では、本日皆様から寄せられました様々なご意見を参考に、子どもたちが楽しく安心して過ごせる学校づくり、そして先生方にとっても働きやすく、やりがいの持てる学</p>

司会（市長政策室長）	<p>校づくりに引き続き取り組んでまいり所存でございます。</p> <p>今後も、この総合教育会議が市長部局そして教育委員会の連携の場となり、上尾市の教育がさらなる発展に結びつくことを祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>西倉教育長、ありがとうございました。皆様、お疲れ様でございました。以上で「令和6年度第2回上尾市総合教育会議」を閉会させていただきます。</p>
------------	--